

令和2年度 講習会・研修会・講演会等実施一覧(予定)

一般財団法人建築保全センター
令和2年3月31日現在

I. 講習会・研修会

部門	講習・研修名	開催地域(予定)	募集人員	開催時期	参加対象／費用(予定)	概要	備考
建築改修工事	建築改修技術定期講習会	①仙台(フォレスト仙台) ②東京①(自動車会館) ③福岡(福岡県自治会館) ④名古屋(ウイングあいち) ⑤東京②(自動車会館) ⑥大阪(大阪科学技術センター)	①110名 ②120名 ③96名 ④114名 ⑤120名 ⑥144名	①11/26 ②11/30 ③12/02 ④12/09 ⑤12/11 ⑥12/16	一般・行政／ 会員:10,000円 非会員:11,000円 ○解説資料を含む	国・政府関係機関及び地方公共団体をはじめ民間においても広く適用されている国土交通省大臣官房官庁管轄部監修の書籍による基礎知識を得ることはもちろん、既存ストックの有効活用が強く求められている今日、適正な工事監理が図られます。	<使用教材> ・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版 ・建築改修工事監理指針(上・下巻)令和元年版
	建築仕上げリフォーム研修会 「建築仕上げ改修施工管理技術者」 資格取得研修	①大阪(大阪科学技術センター) ②東京(東陽セントラルホール) ③福岡(福岡県自治会館)	①60名 ②80名 ③48名	①9/15~9/17 ②10/6~10/8 ③10/13~10/15	一般／ 3日コース:68,540円 2日コース:50,940円 ○使用教材及び資格登録料含む	改修の基礎知識、仕様書の背景となる考え方、さらに防水、外壁、塗装、建具、内装、環境配慮等の専門的改修施工技術に関するテキストを用いて、各々の分野の著名な講師が集中的に講義を行います。	<使用教材> ・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版 ・建築改修工事監理指針(上・下巻)令和元年版
建築保全業務	建築保全業務共通仕様書・同積算基準講習会 ～建築物の保全業務及び点検・確認と劣化判定～	①東京(自動車会館) ②仙台(フォレスト仙台) ③名古屋(ウイングあいち) ④大阪(大阪科学技術センター) ⑤福岡(福岡県自治会館)	①120名 ②40名 ③60名 ④70名 ⑤60名	①10/21 ②10/23 ③10/27 ④10/29 ⑤11/5	一般・行政／ 【午前コース受講】 会員:4,000円 非会員:5,000円 【午後コース受講】 会員:8,000円 非会員:9,000円 【一日コース受講】 会員:10,000円 非会員:11,000円 ○解説資料を含む	【午前の部】 ・国の機関における「建築基準法」及び「官公庁施設の建築等に関する法律」に基づく点検・確認の留意事項を写真や図表で分かりやすく解説 【午後の部】 ・契約図書として建築保全業務共通仕様書を豊富な図表で分かりやすく解説 ・予定価格の根拠とする建築保全業務積算基準及び積算要領を豊富な図表で分かりやすく解説	<使用教材> 【午前の部使用図書】 ・国の機関の建築物の点検・確認ガイドライン(平成29年版) ・施設管理者のための建築物の簡易な劣化判定ハンドブック【平成31年版】 【午後の部使用図書】 ・建築保全業務共通仕様書及び同解説(平成30年版) ・建築保全業務積算基準及び同解説(平成30年版)
	建築物の維持・保全 共催:(一財)全国建設研修センター	東京(小平市)	50名	1/12~1/15	一般・行政／ 86,000円 ○使用教材含む	建築物保全に関してファシリタマネジメントの活用や建築物の維持・保全に必要な知識の習得を目的とする。	
その他	建築物のライフサイクルコスト講習会	①東京①(自動車会館) ②大阪(大阪科学技術センター) ③名古屋(ウイングあいち) ④福岡(福岡県自治会館) ⑤仙台(仙都会館) ⑥東京②(自動車会館)	①120名 ②90名 ③70名 ④60名 ⑤60名 ⑥120名	※ 延期	一般・行政／ 会員:8,000円 非会員:9,000円 ○解説資料を含む	建築物は従来の初期投資に重点を置いた考え方に代わり、ライフサイクルに着目し長期視点に立った総合的な検討が認識されつつあります。新たに改訂発行の書籍を分かり易く解説します。	<使用教材> ・建築物のライフサイクルコスト(平成31年版)第2版

※「延期」:新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い開催を延期します。開催時期は未定です。

II. BIMMS講習会

部門	講習・研修名	開催地域(予定)	募集人員	開催日	参加対象／費用(予定)	概要	備考
BIMMS	BIMMS管理責任者講習会	建築保全センター会議室	8名	5/28,7/10, 9/11,11/13, 1/14,3/5	BIMMS利用の 地方公共団体/ 5,500円	BIMMSの機能の解説 データ入力方法の説明 利用効果について解説	

III. その他講演会等

部門	講習・研修名	開催地域(予定)	募集人員	開催時期	参加対象／費用(予定)	概要	備考
公共建築月間 記念行事	保全技術研究会・記念講演会	東京(建築会館)	200名	11月19日	一般・行政／ 無料	保全技術研究会では戦略的な公共建築マネジメントの取り組みの研究発表、記念講演会では建築のレガシーと題して、著名講師を招いての講演	
公共建築の FMと保全	自治体等FM連絡会議	①盛岡 ②東京(2月頃)	200名 前後	①7/2~7/3 ②東京2月頃 (1日)	登録の自治体職員等 ／ 無料	公共建築のファシリタマネジメントと保全に係る自治体の担当者が相互に顔が見える形で情報交換、交流することを目的に先進自治体の取り組みや各自治体での課題を共有する場として会議を開催します。	幹事自治体により会議運営に関する企画・調整実施が行われています。

1)「講習会・研修会・講演会等」には、解説資料(非売品)が付いています。上記使用教材と解説資料で分かりやすい講習会となっております。

2)「会員」とは、「①(一財)建築保全センター賛助会員 ②国・地方公共団体、公団・公社公的機関の職員 ③後援、協賛団体の会員」 ④建築仕上げ改修施工管理技術者をいいます。